

令和8年度 第2回 深伊沢小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年8月25日(火) 14:30～ 16:00

2 場 所 深伊沢小学校図書室

3 あいさつ(委員長、学校長)

(委員長)大水で困っている地域もあるが、雨が降らないので野菜が悲鳴をあげている。

PTA 作業で運動場がきれいである。頑張ってもらっている。

(学校長)地震・豪雨災害で子どもたちの身の安全や不安になっていないかが心配であったが元気であった。また、災害にあったという報告も聞いていない。

学校休校の判断が変わった。台風に伴うが削除され、レベル3大雨警報でも休校になる。

夏休み中に学校の外の道路にライターが大量にまかれた。(50個ぐらい)

8月11日火災報知器が誤作動を起こし、反応したので対応した。

8月23日PTA環境整備、廃品回収をしていただいた。

4本樺の木を教育委員会のほうで切っていただいた。

本日は学校の取組の中間報告となるのでご意見いただきたい。

4 協議内容

(1)学校関係者評価について

(学校長説明)

(委員)非認知能力の自制心に関する肯定的な意見80%とはどういうことか。

→「ダメなことをやめよう」だけでなく、4つのアンケート項目がある。なかなか達成が難しい項目であるが、頑張って取り組んでいきたい。

(2)FCE(深伊沢コミュニティイベント)について

(学校長説明)

(3)本年度の活動について

- ・学力向上・授業改善について
- ・非認知能力の育成について
- ・児童の様子について

(4)分散会

(5)分散会の報告



【学力向上・授業改善】

○一人 I 台端末について

- ・低学年のうちからの積み重ねの大切さ
ICT 支援員の活用。

○学力について

- ・家庭のバックアップがあり、宿題忘れが少ない。
- ・論理的に伝えることが課題である。単学級なので 10 言わなくても伝わってしまう。きちんと伝えることの重要性。コミュニケーション能力を身につけていくことが大切。

【非認知能力の育成】

○非認知の能力のこどもたちへの伝え方

- ・活動の過程、様子をこどもたちに返していく。
- ・本などの活用。
- ・単級でこども同士の関係性が変わっていかない。鈴峰中校区の小学校同士のかかわりを持つとよい。
- ・失敗を認め、そこから学ぶことの重要さ。
- ・ポジティブメッセージカード、成長カードの取組もよいが、生の経験も積ませたい。

【児童の様子】

- ・一人一人に寄り添った丁寧な支援がされている。
- ・こどもたちの中には、自分たちで考え、解決していこうとする姿が見られる。
- ・暑い中、こどもたちが過ごす場所として、学童はありがたい。地域には広場があるが遊具が少ない。安心して過ごせる場所があるといい。
- ・SNS、オンライン、ゲームのチャットなど言葉の怖さがある。



5 その他

2学期の主な行事予定

(教頭説明)

6 教育委員会より

- ・FCE・・・地域の応援をお願いしたい。
- ・小規模校は、臨機応変に活動でき、一人ひとりに役割を持たせられるのが強みである。
- ・交通事故が昨年度末53件、今年度は現在30件である。見守りの強化をお願いしたい。

